

セキュリティリスクが表示されときの対応手順

インターネットからダウンロードしたファイルには「ZoneId」という情報が自動的に付加されます。(Windowsの仕様です)

ダウンロードしたzipファイルを展開(解凍)すると中身のファイルにまで「ZoneId」が付加される場合があります。(展開(解凍)ツールによって異なります)

※展開(解凍)したファイルの更新日時が展開(解凍)日時になっている場合、これに該当する可能性が高いです。


ZoneIdが付加されている場合



ZoneIdが付加されていない場合



この「ZoneId」が付加されたExcelマクロ有効ワークシート(.xlsm)をExcelで開くと「セキュリティリスク」が表示され、マクロ(VBA)の実行がブロックされます。

 **セキュリティ リスク** このファイルのソースが信頼できないため、Microsoft によりマクロの実行がブロックされました。 [詳細を表示](#)

当ソフトウェアはウィルスのチェックを行い、ソースもオープンにしているため、安全であることが保障されています。「セキュリティリスク」によるブロックは解除して問題ありません。

以下にブロックを解除する手順を示します。

- ① シンプル索引簿.xlsmのプロパティを開きます。(エクスプローラーでファイルを右クリックして[プロパティ]を選択します)
- ② [全般]タブのセキュリティの項目の[許可する]チェックボックスをONにします。
- ③ [OK]ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



【補足】

Windows 7 / 8 / 8.1 では、以下のような表示ですが手順は同じです。

[ブロックの解除]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

